

さくら



令和6年11月18日(月)

悪口を言わない書き込まない



時折ニュースサイトを見ます。ニュースの報道に続いて、それを閲覧した人がさまざまなコメントを寄せています。いたって真っ当なコメントがある一方、汚い言葉で罵(ののし)るようなコメントも数多く見られます。読んでいると気分が悪くなるので、できるだけ読まないようにしています。

よくもあれだけの罵詈雑言(ばりぞうごん)を並べられるものだと、書き込んでいる人の精神状態を疑います。

書き込みにはガイドラインがあり、ガイドラインをこえた書き込みは削除されるそうですが、削除されている書き込みはどれほどひどいものなのでしょう。見たくありませんね。

特定の事象に対して批判的な意見を持ち、理にかなった持論を展開することは何ら問題ありません。それは言論の自由です。しかし、誰かを攻撃すること自体が目的となっている書き込みはいかかなものかと思います。中には事実と反した誹謗中傷もあるかと。これにより傷ついている人も多くいます。

また現実世界では、人が集まれば、悪口に花を咲かせるという場面に出くわすこともあるでしょう。人のことを悪く言うことも、言論の自由ととらえることもできなくはないです。

しかし、悪口は自分の価値を下げ、周囲からの信頼も損ないます。人が集まり誰かの悪口を言っていたとしても、自分はそれに乗らないと心に決めてほしいものです。そうすれば、あなたの価値は下がりにません。

ちなみに、罵詈雑言の反対語は賛美(さんび)です。その意味は、褒(ほ)め称(た)えることです。ネット上のコメントの多くが、他者を称賛(しょうさん)する美しい言葉であったとしたら、コメントを読むのも楽しくなるでしょう。もちろん、現実世界においても同様です。

罵詈雑言：相手に向かって悪口の限りを尽くすこと。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

